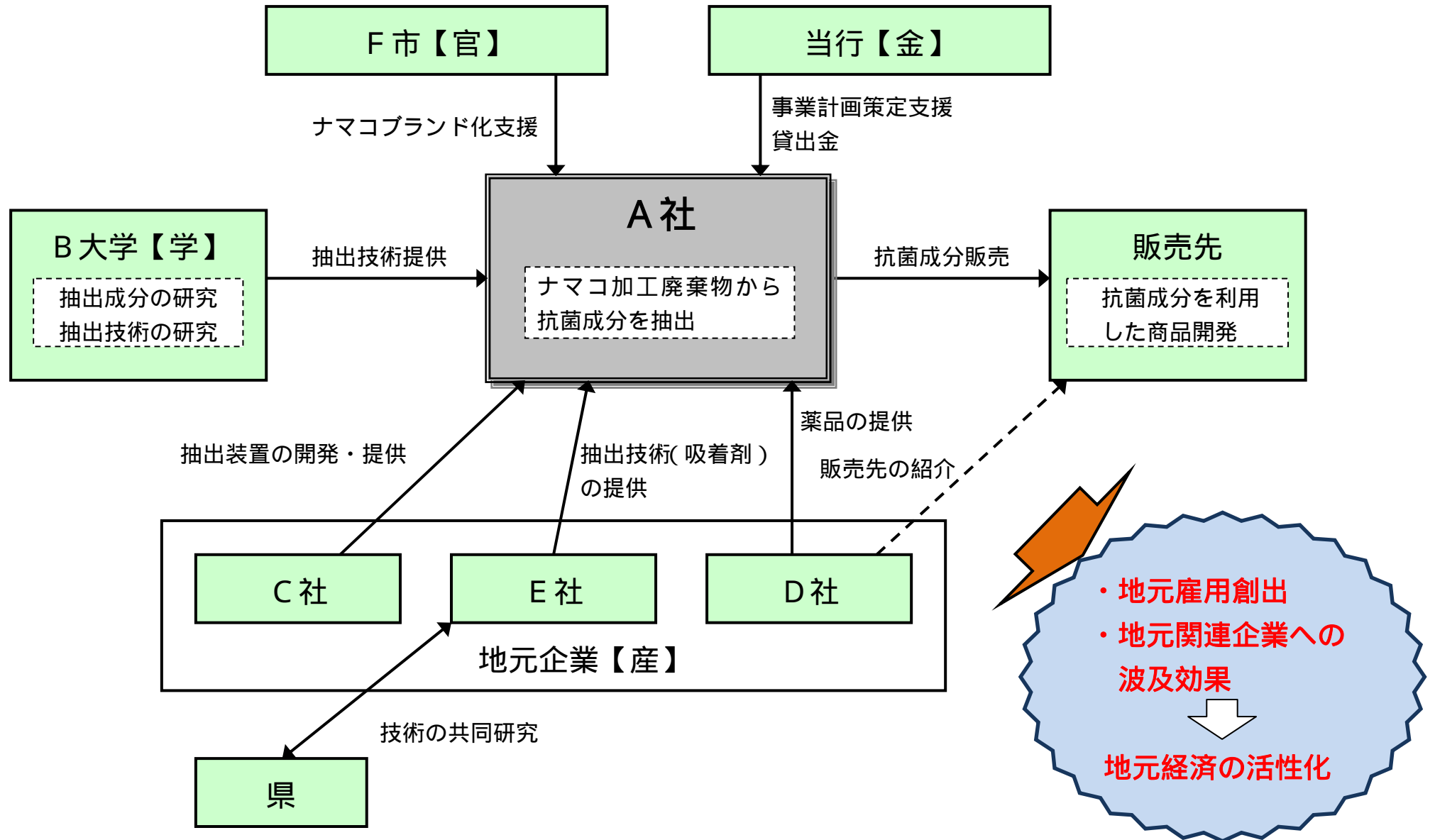


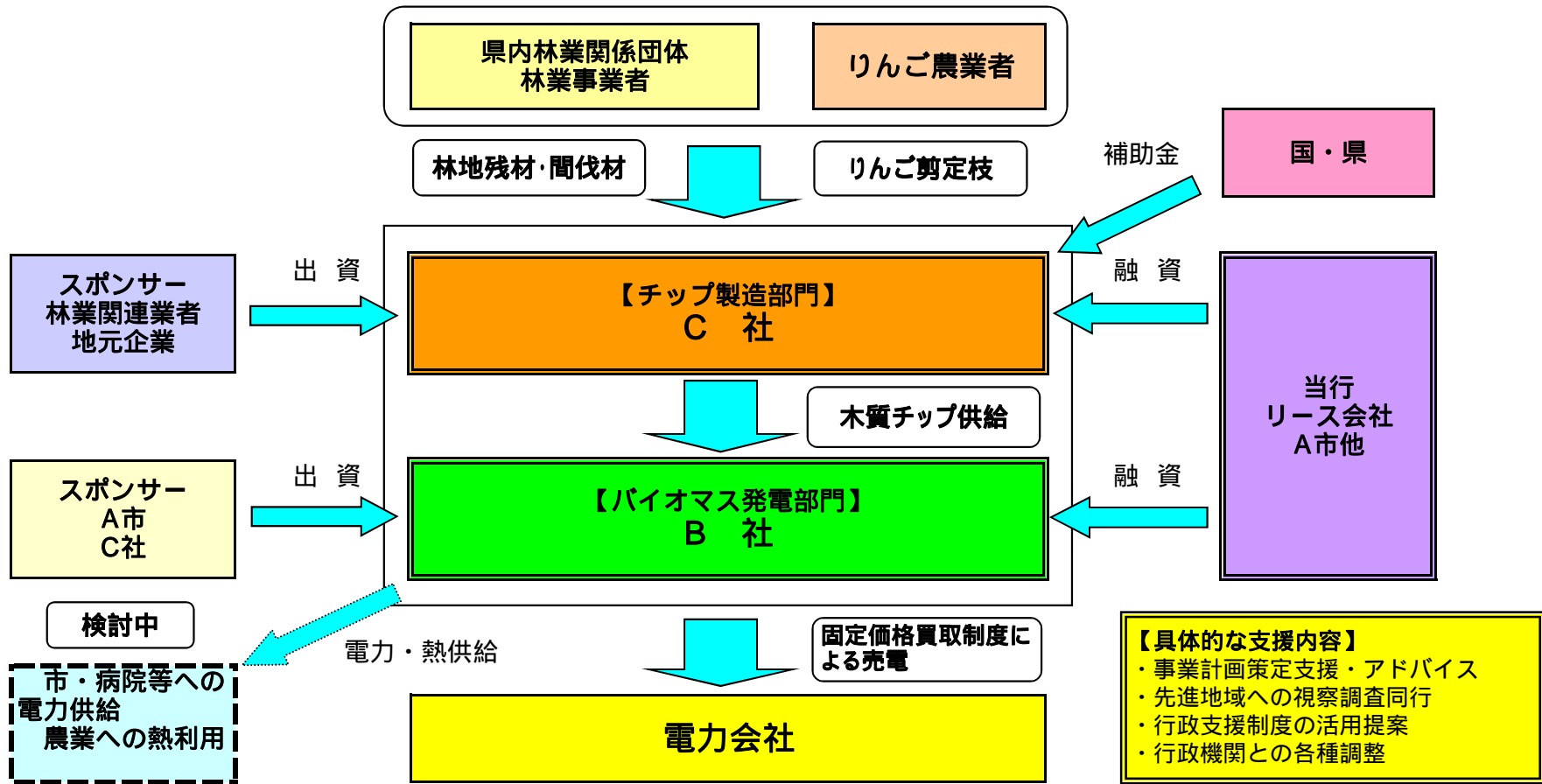
銀行名	青森銀行
タイトル	産学官金連携によるナマコ加工廃棄物を利用した新事業展開支援
取組み内容	<p>1. 当該取組みを始めるに至った経緯等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナマコには保湿作用、抗菌作用等の成分が含まれるため、石鹼や医薬品等に幅広く利用。ただし、高級食材のナマコから抽出するエキスも高価なものとなっている。 ・A社は塩蔵・乾燥ナマコ、酢だこを主力とする水産物加工業者。A社ではナマコ(300t)の加工過程で発生する年間300tの煮汁・30tの内臓を7百万円のコストをかけて廃棄処理。 ・青森県は全国2位のナマコ産地であり、ナマコの加工過程で発生する廃棄物からエキスが抽出できれば、高付加価値製品を低価格で販売できるほか、同業者など地元企業への波及効果も大きい。 <p>2. 当該取組みの具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B大学は、研究によりナマコ加工廃棄物から抗菌成分の抽出が可能であることを確認し、その抽出方法や抽出技術を開発。B大学は、A社の協力依頼に応え、研究成果を提供。【学】 ・県内企業からA社へ技術支援、販売先紹介。【産】 <ul style="list-style-type: none"> ○C社が大量処理に対応した専用の抽出装置を開発・提供。 ○D社が抽出過程に必要な薬品の安定的な提供及び、抗菌成分の販売先を紹介。 ○E社が抽出処理方法に合わせた吸着剤を開発(青森県と共同特許取得)し、提供。 ・F市は「あおりナマコブランド化協議会」を設立し、青森県産ナマコの加工・流通・販売の支援を実施。A社にもブランド化に向けたコーディネートを実施。また、総務省の「地域経済循環創造事業」に選ばれ、50百万円の補助金を導入。【官】 ・当行は「地域経済循環創業事業」申請サポートや、補助金を活用した事業計画の策定などを支援。また、補助金のつなぎ資金の対応のほか、抗菌成分抽出ライン導入に向けた工場建設資金(25百万円、期間5年、無担保・無保証)の対応を予定。融資に当たっては、市場調査等により需要見込みを分析したほか、地元企業・大学の協力などを踏まえ、事業の将来性を評価。【金】 <p>3. 当該取組みの成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来廃棄されていたナマコ加工廃棄物から付加価値商品を開発。 <ul style="list-style-type: none"> ○A社は抗菌成分の製造・販売。 ○A社の販売先では、抗菌成分を繊維に練り込んだ機能性靴下(水虫用靴下)の製造・販売を予定。 ・A社におけるナマコ加工廃棄物の処理コスト削減。 ・地域の水産資源を用いた新規事業展開による地元雇用創出、地元関連企業への波及効果による地域経済の活性化へ貢献。

産官学金連携によるナマコ加工廃棄物を利用した新事業展開



銀行名	株式会社青森銀行
タイトル	木質バイオマスを活用した発電事業への取組み支援
取組み内容	<p>1. 当該取組みを始めるに至った経緯等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A市では、エネルギー基本計画において、林地残材やりんご剪定枝等を利用したバイオマス発電による地域振興を掲げており、平成 24 年 6 月に同市及び地元企業等によるバイオマス発電事業研究会を発足。 ・ 本事業が青森県の豊富な木質系バイオマス資源に着目した事業で、停滞する本県の林業・木材関連産業の再生と活性化に資する事業であることや地域の自治体・企業等の連携による新たな地域産業と雇用の創出に大きく寄与するものである点を評価し、当行でサポートしていくことを決定した。 ・ 当行においては、バイオマス発電事業に関する情報・ノウハウが不足していたことから、他行との情報交換やバイオマス関連セミナーの受講、バイオマス発電先進地の視察調査、県や林業団体等からの情報収集等を通じ、バイオマス発電事業に関する知識の習得と事業評価の精度向上に努め、構想段階から積極的な関与を進めてきた。 ・ 事業主体は、発電会社 B 社と燃料供給会社 C 社。A 市や地元企業・林業関連団体等の一部出資も受け、平成 25 年 4 月に 2 社設立。現在も平成 27 年 10 月本格稼働に向けた計画が進められている。 <p>2. 当該取組みの具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な支援内容としては、事業計画策定の指導・アドバイス、バイオマス発電先進地への視察同行、行政支援制度（利子補給制度）の活用提案、補助金申請コンサルタントの仲介、行政機関との各種調整、ファイナンス組成等を行うなど、営業店と本部が連携した総合的なサポートを実施。 ・ 平成 25 年 12 月、先行する C 社の工場建設資金として新規融資を実行。本件については、創業における信用補完とモニタリングによる実態把握等を目的に、原材料である木材・木質チップを担保とする A B L を導入。 ・ 平成 26 年 3 月、B 社に対し、発電施設建設資金のつなぎ資金として極度枠を新設。また、A 市が B 社に対し、ふるさと融資（当行保証）実行を決定。今後はリース会社等との協調融資も予定しており、引き続き当行主導で案件組成を進めていく。 <p>3. 当該取組みの成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の稼働により、地元では発電・チップ事業で約 30 名、木材を供給する林業関連事業者を含めると約 90 名程度の新規雇用が見込まれている。また、林地残材・間伐材の活用による森林整備の促進、主伐材の品質向上等林業・木材産業の経営環境改善につながる効果が期待されている。 ・ 当行においては、県内初となる木質バイオマス発電事業の創業支援により、中期経営計画で掲げる再生可能エネルギー分野への積極支援の実践と再生可能エネルギーを活用した地域経済活性化に貢献することができた。

地域資源を活用したバイオマス発電事業の創業支援に関する取組み



- 【具体的な支援内容】**
- ・事業計画策定支援・アドバイス
 - ・先進地域への視察調査同行
 - ・行政支援制度の活用提案
 - ・行政機関との各種調整

《取組み成果》
 青森県が有す豊富なバイオマス資源に着目した新たな地域産業と雇用の創出に寄与
 間伐材等の活用による森林整備促進、木材品質の向上等林業・木材産業の再生・活性化に資する事業への支援